

令和 7 年 度

〔 自 令和 7 年 4 月 1 日 〕
〔 至 令和 8 年 3 月 31 日 〕

業 務 報 告 書

島根県農業共済組合

事業報告書

令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（１）農作物共済関係

（引 受）

年産	共済目的	組合員数	引受面積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
7 年産	水稻	人 11,898	a 873,937.7	円 6,441,009,569	円 12,097,608	円 9,632,912	円 21,730,520
		20	5,743.5	9,955,895	101,544	58,181	159,725
	計	延 11,918	879,681.2	6,450,965,464	12,199,152	9,691,093	21,890,245
		実 11,860					
8 年産	麦	19	5,815.1	15,795,872	150,221	87,978	238,199

※引受変更に伴う還付支払金、交付金の修正を含む。

【引受の状況】

○水稻

組合員数は実人数 11,840 人で、昨年から 661 人減少した（対前年比 94.7％）。引受面積は 263.3ha 減少した（同 97.1％）。水稻 1 類（主食用米）、2 類（飼料用米）、3 類（米粉用米）の引受があり、内訳は主食用米が 8,637.3ha で 182.4ha の減、飼料用米は 100.8ha で 78.6ha の減、米粉用米は 1.3ha で 2.3ha の減であった。

収入保険加入者の水稻作付面積は 6,611.8ha であるため、農業保険（収入保険＋農業共済）の補償対象となる水稻は、全作付面積の 93.2％であった。

○麦(令和 8 年産)

組合員数は 1 人減少し（対前年比 95.0％）、引受面積は 0.7ha 増加した（同 101.2％）。加入の内訳は、半相殺方式・8 割補償 1 人、全相殺方式・9 割補償 18 人であった。なお、麦共済加入申込書提出後に収入保険への移行による共済関係の解除は 1 戸面積 14.7ha であった。

(被 害)

共済目的	被害組合員数	共 済 金	<u>共 済 金</u> 共済金額
水稲	人 413	円 32,024,654	% 0.50
麦	16	3,533,023	35.49
計	延 429	35,557,677	0.55

【被害の状況】

○水稲

イノシシを主体とし、シカ、ヌートリア、サルなどの獣害が県下全域で発生した。半相殺方式では、被害面積全体の 57.4%、減収量の 59.0%と大半を占めた。

夏季の酷暑による水不足が発生した。一部では春季の干害が発生し、移植不能が発生した。東部支所では浸潮害が発生した。

大雨により、倒伏が県下全域で発生した。

いもち病、紋枯病、ごま葉枯病が発生した。

対前年比、被害組合員数 84.8%、共済金 87.1%であった。

○麦

令和 7 年 3 月 31 日未明の降霜により凍霜害が発生した。令和 6 年 11 月上旬の降雨により、排水の悪い圃場にて土壌湿潤害が発生した。

対前年比、被害組合員数 94.1%、共済金 115.4%となり前年を大きく上回った。

(支 払)

共済目的	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
			保 険 金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
水稲	12 月 19 日	円	円	円	円	円	円	%
	2 月 20 日	32,024,654		21,730,520			0	100.0
	3 月 27 日							
麦	9 月 26 日	3,533,023		159,725			0	100.0
計		35,557,677	0	21,890,245	13,667,432	0	0	100.0

(損害防止)

- ・ 獣害対策事業として、電気牧柵等の侵入防止設備や捕獲設備の設置等に対する一部助成やセンサーカメラの貸与事業を行った。
有害獣侵入防止助成金 207 件 3,328,112 円。捕獲檻・わな購入助成事業 6 件 92,219 円。センサーカメラ貸与事業 9 件。
- ・ 「土づくり」と「健全な稲づくり」に資するために土壌診断を実施し、農家の「土づくり」意識の向上を図った。令和 8 年 1 月実施 19 戸 49 圃場
- ・ 病虫害防除事業として、無人ヘリコプター等による病虫害防除の取りまとめを行った。
- ・ 予察情報の早期伝達による適期防除と被害の軽減を図るため、病虫害の発生予察を行った。

(2) 家畜共済関係

(引 受)

区分 \ 項目		有資格 頭 数	事業計 画頭数	引 受 頭 数	引 受 頭 数 事業計画頭数	共済金額	徴 収 共済掛金	納 入 保険料	交付金	手 持 共済掛金
		頭	頭	頭	%	千円	円	円	円	円
死亡 廃用 共済	搾乳牛	8,963	8,954	8,644	96.5	2,379,910	69,037,862			
	育成乳牛 (子牛等)	2,920	2,918	2,975	102.0	705,531	3,354,449			
	繁殖用雌牛	9,201	9,183	8,945	97.4	3,344,276	23,407,013			
	育成・肥育牛 (子牛等)	41,582	41,561	42,094	101.3	14,130,110	134,225,836			
	繁殖用雌馬	41	29	33	113.8	10,910	307,922			
	育成・肥育馬	28	28	35	125.0	15,917	813,772			
	種豚	3,200	3,160	1,796	56.8	82,841	9,444			
	肉豚	21,506	21,176	9,697	45.8	139,637	16,689,568			
	種雄牛	9	9	13	144.4	5,928	138,207			
	種雄馬	5	4	4	100.0	3,318	140,161			
	計	87,455	87,022	74,236	85.3	20,818,377	248,124,234			
疾病 傷害 共済	乳用牛	10,518	10,510	10,129	96.4	355,851	64,095,002			
	肉用牛	29,021	28,940	30,483	105.3	1,009,139	162,797,975			
	一般馬	62	49	53	108.2	1,669	34,562			
	種豚	3,200	0	0	0	0	0			
	種雄牛	9	9	13	144.4	561	26,325			
	種雄馬	5	4	4	100.0	113	22,225			
	計	42,815	39,512	40,682	103.0	1,367,333	226,976,089			
合計		130,270	126,534	114,918	90.8	22,185,710	475,100,323		467,453,525	942,553,848

注) 期末調整による過年度引受分徴収掛金 3,147,117 円は上記徴収共済掛金に含まない。

【引受の概要】

○死亡廃用共済

死亡廃用共済について、事業計画と比較し乳用牛 253 頭減少、肉用牛 295 頭増加、豚 12,843 頭減少で、全畜種で 12,786 頭減少の事業計画を下回る引受であった。前年度と比較し乳用牛 294 頭減少、肉用牛 734 頭減少、豚 12,851 頭減少した。共済金額は乳用牛 7,654 万円増加、肉用牛 4 億 1,140 万円減少、豚 1 億 1,588 万円減少した。豚農家の廃業の影響が大きく、全畜種で 13,867 頭減少、共済金額 4 億 4,832 万円減少の引受であった。

○疾病傷害共済

疾病傷害共済について、事業計画に比較し乳用牛 381 頭減少、肉用牛 1,543 頭増加で、全畜種で 1,170 頭増加の事業計画を上回る引受であった。前年度に比較し乳用牛 206 頭減少、肉用牛 76 頭増加した。共済金額は乳用牛 1,962 万円減少、肉用牛 49 万円減少した。乳用牛の飼養頭数の減少により、全畜種で 124 頭減少、共済金額 1,987 万円減少の引受であった。

(事 故)

区分 \ 項目	死 亡 廃 用 共 済			
	死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金
搾乳牛	頭 437	頭 210	頭 647	円 155,531,522
育成乳牛 (子牛等)	91	1	92	5,381,112
繁殖用雌牛	163	54	217	61,380,608
育成・肥育牛 (子牛等)	1,259	100	1,359	205,096,175
繁殖用雌馬	1	1	2	562,600
育成・肥育馬	0	0	0	0
種豚	0	0	0	0
肉豚	2,730	0	2,730	30,611,260
種雄牛	0	0	0	0
種雄馬	0	0	0	0
計	4,681	366	5,047	458,563,277

注) 期末調整による過年度分支払共済金 1,792,715 円は含まない。

区分 \ 項目	疾病傷害共済	
	件数	支払共済金
	件	円
乳用牛	20,601	162,538,934
肉用牛	71,378	370,805,948
一般馬	3	16,893
種豚	0	0
種雄牛	8	31,932
種雄馬	0	0
計	91,990	533,393,707

【事故発生の概要】

○死亡廃用事故

前年度に比較し、事故頭数は乳用牛 14 頭減少、肉用牛 37 頭増加、豚 3,410 頭減少し、支払共済金は乳用牛 643 万円増加、肉用牛 90 万円増加、豚 4,724 万円減少した。豚の事故頭数の減少が大きく影響し、全畜種で 3,391 頭減少、支払共済金 4,229 万円減少した。

○疾病傷害事故

前年度に比較し、乳用牛 946 件増加、肉用牛 5,023 件増加した。支払共済金は乳用牛 365 万円増加し、肉用牛 1,624 万円増加した。肉用牛の事故頭数の増加が大きく影響し、全畜種で 5,967 件増加、支払共済金 1,986 万円増加した。

(損害防止)

実 施 種 目		対象頭数又は回数	経 費	摘 要
特定損害防止		頭 (回) 1, 377	円 14, 288, 970	乳牛（周産期疾患・乳房炎・運動器疾患）、肉用牛（繁殖障害・呼吸器疾患、新生子異常）
一般 損 害 防 止	健 康 検 査	542	1, 084, 000	血液検査による代謝プロファイルテスト
	予 防 衛 生 措 置	42, 213	59, 624, 690	肝蛭・コクシジウムの駆虫、磁石の投与、ワクチン接種など
	飼 養 管 理 指 導	3, 855	4, 115, 314	ビタミン剤・ミネラル剤の投与指示
	講 習 会 、 講 話 会	—	—	
計		47, 987	79, 112, 974	

【損害防止の概要】

家畜の事故防止を図るため、血液検査や乳汁の細菌検査等の損害防止事業を実施した。

特定損害防止事業の国からの交付金は 8, 555 千円であった。

(診療所)

診療所名	獣医師数	管 内		診療件数		損害防止事業			摘 要
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	一般	特損	経費	
	人	頭	頭	頭	頭	頭 (回)	頭	円	
東部家畜診療所	8 (6)	5, 144	4, 943	6, 946	6, 213	9, 340	100	14, 208, 450	
雲南家畜診療所	10 (6)	7, 394	7, 078	13, 271	5, 879	15, 029	390	25, 221, 140	
出雲家畜診療所	11 (5)	4, 873	4, 863	11, 262	3, 920	9, 895	580	20, 383, 880	
石見家畜診療所	22 (17)	25, 404	23, 798	58, 573	7, 121	12, 346	307	19, 299, 504	
計	51 (34)	42, 815	40, 682	90, 052	23, 133	46, 610	1, 377	79, 112, 974	

獣医師数は、嘱託獣医師含む。（ ）内は嘱託獣医師数。

(3) 果樹共済関係

(引 受)

年度	果樹区分	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
6	ぶどう	人 99	a 2,447.4	円 187,717,000	円 1,422,914	円 1,351,715	円 2,774,629
	か き	34	922.9	20,758,000	355,522	251,700	607,222
	く り	5	265.0	269,000	12,952	7,736	20,688
	樹体(ぶどう)	17	1,290.7	219,077,000	1,282,934	1,196,907	2,479,841
	計	155	4,926.0	427,821,000	3,074,322	2,808,058	5,882,380
7	ぶどう	90	2,087.8	157,133,000	1,174,342	1,137,700	2,312,042
	か き	29	897.0	18,890,000	360,436	218,655	579,091
	く り	3	180.0	295,000	13,459	5,319	18,778
	樹体(ぶどう)	17	1,296.2	213,634,000	1,211,936	1,113,277	2,325,213
	計	139	4,461.0	389,952,000	2,760,173	2,474,951	5,235,124

※引受変更に伴う還付支払金、交付金の修正を含む。

【引受の状況】

○ぶどう

高齢化に伴う廃業と収入保険への移行により組合員数は9人減少(対前年比90.9%)、面積は359.6a減少した(同85.3%)。

○かき

高齢化に伴う廃業により、組合員数は5人減少(対前年比85.3%)、面積は25.9a減少した(同97.2%)。

○くり

高齢化に伴う廃業により、組合員数は2人減少(対前年比60.0%)、面積は85.0a減少した(同67.9%)。

○樹体(ぶどう)

面積が5.5a増加した(対前年比100.4%)。

(被 害)

果樹区分	被害組合員数	共 済 金	共 済 金 共済金額
	人	円	%
ぶどう	4	226,880	0.12
か き	16	4,088,960	19.70
く り	1	6,440	2.39
樹体(ぶどう)	13	1,969,770	0.90
計	34	6,292,050	1.47

【被害の状況】

○ぶどう

6月3日と14日に大雨となり、一部の地域で圃場が湿潤状態となり裂果被害が生じた。

3月31日未明に気温が-3℃まで低下し、花芽や新枝が凍霜害を受け枯死し、発芽不良が発生した。

6月の大雨により晚腐病に感染し、8月に発病し被害が広がった。

○かき

3月31日未明に気温が-5℃まで低下し、花芽や新枝が凍霜害を受け枯死し、発芽不良が発生した。

水不足による干害を受け収穫量が減少した。

夏場の高温で日焼果が発生した。また、高温乾燥・長雨により樹上軟化が発生した。

○くり

夏場の高温で7月下旬より水不足になり樹が枯れ、生育も悪く小粒、しわ栗が発生し減収となった。

○樹体(ぶどう)

令和6年6月下旬から7月初旬の大雨、8月と10月の干ばつ・少雨、7月から10月までの高温により、樹勢が低下し白紋羽病に罹患したため、デラウェア・巨峰・ピオーネ・マスカットベリーA・シャインマスカットの樹木が枯死した。

(支 払)

果樹区分	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
			保 険 金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
ぶどう	12 月 19 日	円 226,880	円	円	円	円	円	% 100.0
か き	3 月 27 日	4,088,960					0	100.0
く り		6,440					0	100.0
樹体(ぶどう)	8 月 8 日	1,969,770					0	100.0
計		6,292,050					0	100.0

(損害防止)

- ・果樹共済（ぶどう） 土壌診断事業を実施した。実施内容 令和7年9月 76戸 255園地
- ・果樹共済（かき） 土壌診断事業を実施した。実施内容 令和8年1月 3戸 7園地

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

年度	項目 畑作物区分	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)-(B)
7 年 度	大 豆	人 19	a 3,459.9	円 5,103,484	円 83,216	円	円
	そ ば	30	7,753.1	8,375,141	365,641		
	計	延 49	11,213.0	13,478,625	448,857	91,195	357,662
		実 48					

【引受の状況】

○大豆

収入保険への移行、栽培の中止により、組合員数は4人減少(対前年比82.6%)。面積は16.2ha減少した(対前年比68.1%)。

収入保険加入者の大豆作付面積は390haであるため、農業保険(収入保険+農業共済)の補償対象となる大豆は、全作付面積の83.7%であった。

○そば

収入保険への移行、栽培の中止により組合員数は8人減少(対前年比78.9%)。面積は20.3ha減少した(対前年比79.2%)。

収入保険加入者のそば作付面積は275haであるため、農業保険(収入保険+農業共済)の補償対象となるそばは、全作付面積の72.9%であった。

(被 害)

項目 畑作物区分	被害組合員数	共 済 金	共 済 金 共済金額
大 豆	人 7	円 682,004	% 13.4
そ ば	15	2,510,284	30.0
計	延 22	3,192,288	23.7

【被害の状況】

○大豆

6月下旬と8月上旬の大雨により土壌湿潤害が発生し、発芽期から本葉期に生育不良が生じ着莢数が減少して減収に繋がった。
本葉期から着莢期の7月下旬及び9月下旬に降水量が少なく、夏の酷暑による干害が発生し、落花・落莢が生じ減収した。
対前年比、被害組合員数43.8%、共済金13.0%と減少した。

○そば

8月上旬と9月中旬の大雨により土壌湿潤害が発生し、酸素不足により根が弱ったため、生育不良が生じ、草丈が低く莖数と花が減少し減収した。
8月下旬から開花期の9月上旬にかけて降雨が少なく、高温により草体が枯れる被害が生じた。
8月から9月にかけてハスモンヨトウによる虫害が発生した。
対前年比、被害組合員数55.6%、共済金93.5%と減少した。

(支 払)

畑作物区分 項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
			保 険 金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
大 豆	3月27日 5月15日	円 682,004	円	円	円	円	円 0	% 100.0
そ ば		2,510,284					0	100.0
計		3,192,288	1,806,975	357,662	1,027,651	0	0	100.0

(損害防止)

・大豆の基幹防除として、9月6日に紫斑病、ハスモンヨトウ、カメムシ類等を対象に無人ヘリコプターによる防除（散布面積4.6ha）の取りまとめを行った。

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分 \ 項 目		組合員数	引受棟数	設置面積	共 済 価 額	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交付金 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
ガラス室	Ⅱ 類	人	棟	m ²	円	円	円	円	円
		9	21	7,498	99,946,811	72,744,137	17,001	12,887	29,888
プラスチック ハウス	Ⅱ 類	1,862	5,218	1,994,744	7,097,717,595	5,214,708,405	24,302,386	12,641,238	36,943,624
	Ⅲ 類	20	27	30,422	142,422,393	85,727,850	116,525	98,845	215,370
	Ⅳ 類	甲	14	35	28,066	258,551,076	217,708,186	378,789	597,925
		乙	20	39	49,659	465,595,641	365,700,062	289,613	432,794
	Ⅴ 類	15	22	26,021	833,893,802	749,157,341	844,374	344,395	1,188,769
	Ⅵ 類	29	65	49,612	104,394,907	73,116,822	493,178	323,152	816,330
	Ⅶ 類	8	14	60,101	25,251,594	17,445,944	127,999	120,754	248,753
計		1,977	5,441	2,246,123	9,027,773,819	6,796,308,747	26,569,865	13,903,588	40,473,453

※引受変更に伴う還付支払金、交付金の修正を含む。

【引受の状況】

高齢化に伴う離農・廃園により組合員数が前年実績を下回った。大規模法人の新規加入があったため、棟数・共済金額は前年を上回った。

前年対比増減

組合員数 △60 人 97.1% 引受棟数 6 棟 100.1% 共済金額 473,201 千円 107.5%

(被 害)

項 目 施設区分		被 害			損害の額	共 済 金					共 済 金 共済金額	
		組合 員数	棟 数	附 帯 施設数		特定園 芸施設	附帯施設	施 設 内 農 作 物	復旧費用 撤去費用	合 計		
ガラス室	Ⅱ類	人 1	棟 3	基 0	円 127,515	円 102,010	円 0	円 0	円 0	円 102,010	%	
プラス チック ハウス	Ⅱ類	232	295	10	26,475,058	17,449,663	897,966	0	2,015,091	20,362,720		
	Ⅲ類	4	4	0	165,010	132,006	0	0	0	132,006		
	Ⅳ類	甲	1	1	0	2,543,115	2,543,115	0	0	0	2,543,115	
		乙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Ⅴ類	3	3	2	2,179,224	932,704	938,645	0	0	1,871,349		
	Ⅵ類	1	1	0	10,733	8,586	0	0	0	8,586		
	Ⅶ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計		242	307	12	31,500,655	21,168,084	1,836,611	0	2,015,091	25,019,786		

【被害の状況】

低気圧の通過（4月8日13日、5月10日、12月3日、1月10日、2月22日）に伴う強風、雹害（4月10日）、積雪（1月3日、2月8日）により施設本体・被覆材に被害が生じた。

落雷による附帯施設への被害があった。

鳥やサルによるビニール被害のほか、車両の衝突による被害が発生した。

<内訳>

	棟数	共済金	支払割合	
風 害	254 棟	12,749,370 円	51.0%	(特定園芸施設・附帯施設・復旧)
雪 害	38 棟	10,604,520 円	42.4%	(特定園芸施設)
落 雷	6 棟	1,226,253 円	4.9%	(附帯施設)
雹 害	2 棟	308,755 円	1.2%	(特定園芸施設)
鳥 獣 害	3 棟	41,449 円	0.2%	(特定園芸施設)
凍 害	1 棟	27,780 円	0.1%	(附帯施設)
車両の衝突	3 棟	61,659 円	0.2%	(特定園芸施設)

(支 払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					<u>実支払共済金</u> 共 済 金
	保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
円 25,019,786	円 8,247,954	円 16,771,832	円 0	円 0	円 0	% 100.0

(損害防止)

- ・風害等の被害拡大防止対策事業として補修テープの配布を実施した。 693 個 499,306 円

（６）任意共済関係

1 建物共済

（引受関係）

（１）農家建物

加入棟数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 棟 当 たり 平均共済金額	任 意 保 険 料	保 険 手 数 料
		純共済掛金	賦 課 金			
棟	円	円	円	円	円	円
83,962	1,026,078,530,000	604,332,150	397,534,330	12,220,749	317,049,249	106,584,471

総共済掛金額 1,001,866,480 円、任意保険割合 地震以外 30% 地震 50%。保険手数料割合 火災共済 40.5% 総合共済 10.5%。

独自保険割合 地震等：前年度総合共済引受共済金額の 3.5%を超えた額の 50% 地震等を除く自然災害：前年度総合共済純共済掛金の 1,650%を超えた額の 60%。

【引受の状況】

火災共済は、中止・解約により共済金額が前年対比 242 億 6,996 万円減少した。一方、総合共済は、小損害実損てん補特約 50 万円への加入移行により少額契約を中心に共済金額が前年対比 1 億 5,782 万円減少した。火災、総合共済を合わせた共済金額は、前年対比伸長率 97.7%となった。

(事故関係)

(1) 農家建物

事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)		任意保険金	被害率 (ロ)／(イ)	備 考
		火 災	風水害等			
棟 780	円 1, 026, 078, 530, 000	円 179, 389, 333	円 121, 325, 995	円 92, 936, 409	% 0. 03	

【被害の状況】

火災事故は、前年同数の 25 棟で、支払共済金は 5,653 万円減の 1 億 7,939 万円となった。自然災害は、前年対比 134 棟の増、支払共済金は 3,405 万円増の 6,443 万円の支払いとなった。また、落雷及び拡張担保事故は前年対比 171 棟の増、5,689 万円の支払いとなった。

(2) 建物共済原因別事故発生状況

イ 農家建物

事故の原因別	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	任意保険金	被害率 (ロ)／(イ)	備 考
火災	棟 25	円 /	円 179, 389, 333	円 53, 816, 796	% /	
落雷	277		42, 285, 534	12, 685, 566		
拡張担保（落雷除く）	179		14, 606, 038	4, 381, 771		
自然災害（地震除く）	266		50, 824, 298	15, 247, 214		
地震	33		13, 610, 125	6, 805, 062		
計	780	1, 026, 078, 530, 000	300, 715, 328	92, 936, 409	0. 03	

2 農機具損害共済
(引受関係)

加入台数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 台 当 たり 平均共済金額	備 考
		純共済掛金	賦 課 金		
台 11,350	円 22,721,150,000	円 118,000,329	円 28,758,517	円 2,001,863	

【引受の状況】

前年対比で台数 252 台の増、共済金額 9 億 3,236 万円増加した。加入物件の内訳は、トラクタ、田植機、コンバインなどの普通物件が 10,993 台、農用トラック 105 台、畜産用農機具 190 台、ドローン 62 台となった。

(事故関係)

事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)		被害率 (ロ)／(イ)	備 考
		火 災	風水害等		
台 349	円 22,721,150,000	円 3,685,000	円 102,244,202	% 0.47	

【被害の状況】

事故台数は、前年対比 71 台減少し、支払共済金は約 856 万円減の 1 億 593 万円となった。
機種別にはコンバイン 107 台 3,625 万円、トラクタ 109 台 2,445 万円で全体の 57.3%を支払った。

農機具損害共済原因別事故発生状況

事故の原因別	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ)／(イ)	備 考
火災・落雷	台 8	円 22,721,150,000	円 4,161,316	% 0.47	火災事故 2 台、落雷事故 6 台
自然災害	0		0		
接触	205		38,508,005		接触事故 205 台
その他稼働中事故	136		63,259,881		主な事故は衝突 18 台、異物巻込 59 台 他
計	349	22,721,150,000	105,929,202	0.47	

3 保管中農産物補償共済

(引受関係)

加入件数	加入口数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 件 当 た り 平均共済金額	任 意 保 険 料
			純共済掛金	賦 課 金		
件 2	口 20	円 20,000,000	円 35,000	円 15,000	円 10,000,000	円 37,240

総共済掛金額 50,000 円、任意保険割合 100%

【引受の状況】

1 件の新規加入があった。収入保険への移行が 1 件あった。

(事故関係)

事故件数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)		任 意 保 険 金	被害率 (ロ)／(イ)	備 考
		火 災	風水害等			
棟 0	円 0	円 0	円 0	円 0	% -	

【被害の状況】

被害なし

(7) 農機具更新共済関係

(引 受)

加入台数	共済金額	減価共済金	共 済 掛 金		
			純 共 済 掛 金		賦 課 金
			損 害 部 分	減 価 部 分	
台 61	円 161,830,000	円 153,450,000	円 1,123,162	円 31,039,814	円 898,974

【引受の状況】

新規加入が 12 台、満期 15 台、解約 1 台で、加入台数は 61 台となった。保有高は前年対比 215 万円増の 1 億 6,183 万円となった。

(事 故)

事故台数	期間満了台数	加入総共済金額 (イ)	支 払 共 済 金		被害率 (ロ)／(イ)
			火災・風水害等 (ロ)	期間満了によるもの	
台 5	台 15	円 161,830,000	円 226,369	円 33,130,000	% 0.14

【被害の状況】

事故台数は 5 台で、共済金は前年対比 35 万円減の 226,369 円となった。事故機種は、コンバイン、田植機などであった。

(8) 農業経営収入保険関係

(引 受)

目標	実績	基準収入金額
経営体 1,300	経営体 1,249	円 12,704,455,177

【状況】

前年度と比較して14経営体の増となった。(東部支所14経営体、出雲支所△9経営体、石見支所5経営体、石西支所4経営体)
目標達成率は96.1%(東部支所97.0%、出雲支所95.0%、石見支所96.9%、石西支所97.0%)

(支 払)

保険年度	加入	支払	特約補てん金	保険金	合計
令和6年	経営体 1,235	経営体 214	円 100,073,238	円 125,131,296	円 225,204,534

【状況】

保険金等(特約補てん金及び保険金)の支所別支払経営体数は、東部支所58経営体(対加入者23.4%)、出雲支所73経営体(対加入者13.1%)、石見支所47経営体(対加入者17.3%)、石西支所36経営体(対加入者23.1%)となっている。

（９）業務関係

ア 重要な処理事項

年 月 日	開 催 し た 主 た る 協 議 事 項		
自 令和 7 年 4 月 1 日 至 令和 8 年 3 月 31 日	役員会	1 回	役員会（全員協議会）（於島根県農業共済組合本所会議室）組織体制について協議を行った。（令和 7 年 11 月 6 日）
	理事会	6 回	第 1 回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）第 8 回通常総代会提出議案について外 17 議案について協議を行った。（令和 7 年 6 月 4 日） 第 2 回理事会（於島根県農業共済組合石西支所会議室）樹体共済（ぶどう）当初評価高について外 2 議案について協議を行った。（令和 7 年 8 月 1 日） 第 3 回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）麦共済当初評価高について外 5 議案について協議を行った。（令和 7 年 9 月 12 日） 第 4 回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）水稻共済（半相殺方式）当初評価高について外 4 議案について協議を行った。（令和 7 年 12 月 3 日） 第 5 回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）水稻共済（全相殺方式）当初評価高について外 6 議案について協議を行った。（令和 8 年 2 月 4 日） 第 6 回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）水稻共済（全相殺方式）当初評価高について外 21 議案について協議を行った。（令和 8 年 3 月 12 日）
	理事会小委員会	5 回	総務関係小委員会を 5 回、事業関係小委員会を 1 回開催し、役員定数・執行体制についてなどの検討を行った。総務：（令和 7 年 6 月 4 日）（令和 7 年 7 月 25 日）（令和 7 年 9 月 12 日）（令和 7 年 10 月 3 日）（令和 8 年 3 月 3 日）、事業：（令和 7 年 12 月 3 日）
	監事会	4 回	第 1 回監事会（於島根県農業共済組合本所会議室）定時監査（決算監査）理事会報告事項について外 1 議案について協議を行った。（令和 7 年 5 月 28 日） 第 2 回監事会（於島根県農業共済組合本所会議室）臨時監査（家畜診療所監査）理事会報告事項について外 2 議案について協議を行った。（令和 7 年 8 月

	監事による監査	4 回	22 日) 第 3 回監事会 (於島根県農業共済組合本所会議室) 定時監査(中間監査)理事会報告事項について外 1 議案について協議を行った。(令和 7 年 11 月 6 日) 第 4 回監事会 (於島根県農業共済組合本所会議室) 臨時監査(経理監査)理事会報告事項について外 3 議案について協議を行った。(令和 8 年 2 月 4 日) 第 1 回定時(決算) 監査 (令和 7 年 5 月 20 日、22 日、23 日、26 日) 第 2 回定時(中間) 監査 (令和 7 年 10 月 22 日、23 日、28 日、29 日) 臨時(家畜診療所) 監査 (令和 7 年 8 月 5 日、7 日、18 日、20 日) 臨時(本所・支所) 監査 (令和 8 年 1 月 20 日、21 日、23 日、26 日)
	総代会	2 回	第 8 回通常総代会 (於ラピタ ウェディングパレス 鳳凰の間) 提出議案を原案通り承認議決した。(令和 7 年 6 月 24 日) 第 13 回臨時総代会 (於島根県農業共済組合本所会議室) 提出議案を原案通り承認議決した。(令和 8 年 3 月 24 日)
	県庁常例検査		島根県農林水産部農林水産総務課の検査を受けた。 東部支所 (令和 7 年 9 月 9 日～11 日) 出雲家畜診療所 (令和 7 年 9 月 17 日) 家畜臨床技術センター (令和 7 年 9 月 17 日) 本所及び出雲支所 (令和 7 年 12 月 9 日～12 日)
	コンプライアンス改善委員会	2 回	不祥事件の再発防止について、令和 7 年度コンプライアンス・プログラムの達成状況について、経理事務処理チェックリストの見直しについて、口座振替の移行状況について協議を行った。(令和 7 年 8 月 22 日) コンプライアンスマニュアルの一部改正について(案)、コンプライアンス(法令等遵守) 規定の一部改正について(案)、コンプライアンス改善委員会設置要領の一部改正について(案)、カスタマーハラスメントに関する基本方針について(案)、令和 8 年度コンプライアンス・プログラム(案) について検討

	コンプライアンス研修会 余裕金運用管理委員会 損害評価会	6 回 4 回	を行った。（令和 8 年 2 月 24 日） コンプライアンスに係る役職員研修を行った。（令和 7 年 4 月 3 日「新規採用職員研修会」、令和 7 年 11 月 18 日～19 日「役職員コンプライアンス研修会」、令和 7 年 12 月 19 日「人権同和問題研修会」、令和 7 年 12 月 3 日「理事・監事研修会」） 安定・確実な利息収入を確保するために協議を行った。 （令和 7 年 5 月 19 日、7 月 24 日、11 月 19 日、令和 8 年 2 月 17 日） 水稻共済部会 3 回、麦共済部会 1 回、家畜共済部会 1 回、ぶどう共済部会 1 回、かき共済部会 1 回、くり共済部会 1 回、大豆共済部会 1 回、そば共済部会 1 回、任意共済部会 1 回を開催し、損害評価に関する事項等の協議並びに評価高認定を行った。
--	---	-----------------------	---

イ 総代会

(ア) 第8回通常総代会（令和7年6月24日）

総代会日現在総代数（A）	203人	出席率
本人出席（B）	98人	(B) / (A) 48.3%
代理出席	0人	
書面出席	92人	
出席者計（C）	190人	(C) / (A) 93.6%
重要な議事及び議決事項		
1. 令和6年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び不足金処理案について		
2. 令和7年度事業計画設定について		
3. 令和7年度事務費賦課額並びに徴収方法について		
4. 令和7年度役員、顧問並びに各委員の報酬額について		
5. 令和7年度借入金最高限度額等の決定について		
6. 令和7年度余裕金預入先の決定について		
7. 損害評価会委員の補欠選任について		
8. 家畜診療所運営審議会委員の委嘱について		
9. 島根県農業共済組合における実施体制の改善計画の一部変更について		
附帯決議		

(イ) 第13回臨時総代会（令和8年3月24日）

総代会日現在総代数（A）	203人	出席率
本人出席（B）	14人	(B) / (A) 6.9%
代理出席	0人	
書面出席	165人	
出席者計（C）	179人	(C) / (A) 88.2%
重要な議事及び議決事項		
1. 令和7年度事業計画設定(業務収支予算書)の変更について		
2. 島根県農業共済組合定款の一部変更について		
3. 島根県農業共済組合事業規定の一部変更について		
4. 家畜共済掛金標準率の改定及び危険段階別共済掛金率の設定について		
5. 島根県農業共済組合諸規則の一部変更について		
附帯決議		

ウ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増 減	摘 要
4 7, 3 7 7 人	4 6, 3 4 7 人	△ 1, 0 3 0 人	

エ 役職員数その他

(ア) 役員 ー令和 8 年 3 月 31 日現在ー

理 事			監 事			計
常 勤	非常勤	計	常 勤	非常勤	計	
0 人	1 7 人	1 7 人	0 人	3 人	3 人	2 0 人

(イ) 職員 ー令和 8 年 3 月 31 日現在ー

①本所／出雲支所

事 項 性 別	参 事 人	支 所 長 人	内 部 監 査 室 人	総 務 課 人	企 画 情 報 課 人	農 産 課 人	家 畜 課 人
男	1	1		5	3	7	5
女			1	4	1	1	2
計	1	1	1	9	4	8	7
事 項 性 別	建物農機具課 人	収 入 保 険 課 人	小 計 人	雲 南 事 務 所 人	仁多郡事務所 人	合 計 人	
男	3	3	2 8	9	1	3 8	
女	2	2	1 3	1	1	1 5	
計	5	5	4 1	1 0	2	5 3	

※上記職員数には、総務課；嘱託(女) 1 人、臨時(女) 1 人、農産課；嘱託(男) 2 人、臨時(女) 1 人、建物農機具課；嘱託(女) 1 人、収入保険課；嘱託 (女) 1 人、雲南事務所；嘱託(男) 1 人、嘱託(女) 1 人、臨時(男) 3 人、仁多郡事務所；嘱託(女) 1 人、パートタイム(男) 1 人を含む。

②東部支所

性 別 \ 事 項	支 所 長 人	総 務 課 人	農 産 課 人	家 畜 建 物 課 人	隠 岐 事 務 所 人	合 計 人	備 考
男	1	1	8	6	2	18	
女		1	1	1		3	
計	1	2	9	7	2	21	

※上記職員数には、総務課；嘱託(男) 1 人、農産課；嘱託(男) 1 人、家畜建物課；嘱託(男) 2 人、嘱託(女) 1 人を含む。

③石見支所

性 別 \ 事 項	支 所 長 人	総 務 課 人	農 産 課 人	家 畜 建 物 課 人	邑 智 事 務 所 人	浜 田 事 務 所 人	合 計 人
男	1		4	4	4	4	17
女		2	1	3	2	1	9
計	1	2	5	7	6	5	26

※上記職員数には、総務課；嘱託(女) 1 人、農産課；嘱託(女) 1 人、家畜建物課；嘱託(女) 2 人、臨時(女) 1 人、邑智事務所；嘱託 (女) 1 人、浜田事務所；嘱託(女) 1 人、臨時(男) 1 人を含む。

④石西支所

性 別 \ 事 項	支 所 長 人	総 務 課 人	農 産 課 人	家 畜 建 物 課 人	合 計 人	備 考
男	1	2	4	3	10	
女		1	1	2	4	
計	1	3	5	5	14	

※上記職員数には、総務課；嘱託(男) 1 人、パートタイム(女) 1 人、農産課；臨時 (男) 1 人、臨時(女) 1 人、家畜建物課；嘱託(女) 1 人を含む。

⑤家畜診療所／家畜臨床技術センター

性 別 \ 事 項		東 部 診 人	雲 南 診 人	出 雲 診 人	石 見 診 人	臨床技術センター 人	合 計 人	備 考 人
獣医師	男	2	2	2	4		10	
	女	1	3	3	2	1	10	
事務職	男							
	女	1	1	1	1	1	5	
計		4	6	6	7	2	25	

※上記獣医師数には、東部診；嘱託(男)1人、雲南診；嘱託(男)1人、石見診；嘱託(男)1人を含む。事務職員数には、東部診；嘱託(女)1人、雲南診；嘱託(女)1人、出雲診；嘱託(女)1人、石見診；嘱託(女)1人、臨床技術センター；臨時(女)1人を含む。

(ウ) 総代、NOSAI 部長（共済連絡員）、損害評価会委員、損害評価員

総 代	NOSAI 部 長	損害評価会委員	損 害 評 価 員
203人	4,253人	169人	1,625人